



## いのちの写真展 全力準備中 2021年は釜石市で

東日本大震災から10年の節目を迎える2021年の「いのちの写真展」は、2月11日に釜石市のTETTOをメイン会場に開催することに決めました。9回目で初めて、沿岸自治体での開催となります。

多くの命が奪われたまさにその土地で、写真展を開催することに、何とも言えない重みを感じています。2012年から震災で亡くなった方に想いを寄せる場所をつくりたいと始めた写真展の今後を考えた時、「沿岸でやらなくては」という思いで、メンバーの想いが一致しました。震災から10年と簡単にいいますが、まだ心の中は当時から何も変わっていないような気がします。それほど必死に、悲しみを抱えながら生きてきました。被災したその場所で、亡くなった方より近い場所で、この10年の日々を振り返る機会があってこそ、新たな一歩を踏み出せるのではないかと思うのです。

編集長が釜石署長に飛び込みで相談したところ、快い返事をいただき、実現となりました。警察のほか海上保安庁、自衛隊、消防の各機関や釜石市の温かい協力も得て、12月には二度、いのち新聞メンバーと関係機関の顔合わせを釜石署で行いました。それぞれ自己紹介をしたり、各機関の出展内容の確認をしました。釜石からの参加者の中には、震災で被災した方や遺体捜索など震災対応の最前線で尽力した方もいて、「再び震災のことに関わられてうれしい」と、私たちの想いに賛同してくれました。

北上市で開催した前回は約800人の方に来場していただきましたが、今回は新型コロナウイルス防止策として、来場者は釜石・大槌地区の住民に限ることにしました。そのため、準備風景や本番会場の様子をYou Tubeで発信する試みもします。小学生メンバーのりゅう君は早速、制服を着た災害対応のプロたちにインタビューしました。



全国各地で被災地に想いを寄せてくださっている方、医療現場で頑張っている従事者の方らにも届いてほしいと願っています。

### You Tube 配信予定

- ①令和3年1月11日〈東日本大震災 追悼イベント告知〉
- ②令和3年3月11日〈東日本大震災 追悼イベントの様子〉
- ③令和3年5月11日〈災害支援「ありがとう」コメント集〉
- ④令和3年7月11日〈災害支援「再会」〉
- ⑤令和3年9月11日〈災害支援「動物救助・支援集」〉

「いのち新聞」へのお手紙や活動資金のご寄付ありがとうございます。

### お問い合わせ先

〒024-0024 岩手県北上市中野町2丁目28-23  
株式会社 桜内 「いのち」新聞編集部  
☆お電話での問い合わせはご遠慮ください。ハガキ又はお手紙で受付けています。

## 母ちゃんの家 アレンジメントコーナー

今年のアレンジメントコーナーの準備は、いのち新聞のメンバーの方が手伝ってくれました。「初めてだし、自分にはセンスもないから向いていないんです。」と。私が「そんなことはないですよ。すぐに楽しく生けることが出来ますよ。」と言いながら始めました。スイートピーやかすみ草、スターチス、ミリオグラタスを思い思いにカット。1つ1つ心の中でお花に話しかけながら、ここの位置がいかな…とじっくりくる場所に挿しながら、「楽しい!!私にもこんな風に来るんだ。」と彼女からこんな声が出ました。やっぱり！私は嬉しくなりました。



当日は高校生3人組のお姉さんを中心に、小学生のスタッフがコーナーを担当してくれました。小学生前の子ども達や、ご年配のお友達グループの方、ご夫婦の方、沢山の方に体験いただいて、終始笑い声に包まれたコーナーになりました。自分の作品の出来栄えに感嘆の声があがり、スタッフも嬉しくなりました。今回も来場者の方が“ホッ”と出来た場所だったとだけいただけたら幸いです。

(母ちゃんの家)

## 「今、想うこと」

大切な人達を失ったあの日から、もうすぐ10年が経ちます。いろんな事がありました。辛い事や大変な事もたくさん…。でも新しい出会いや、気付きもたくさんありました。震災がなければできなかった経験や、たどり着けなかった答え。きっと、あの日天国へ旅立った祖母が、いつも道を照らしてくれているんだと信じています。

震災の事をしっかり伝えていく事が、未来の人達のいのちを守る事につながると思います。「東日本大震災写真・パネル展」震災を体験していない・当時はまだ小さくて覚えていないという子ども達にもぜひ見に来てもらえたらいいなと願っています。



(宮古のYちゃん)

### ご支援・ご寄付のご案内

北上信用金庫 東支店 口座番号 0103488  
預金種類 普通預金 口座名称 いのち新聞 代表 笹原 留似子

ご支援いただけるスポンサーの皆さまには、活動報告を別資料として報告致しております。ハガキや封書にて住所・氏名・電話番号・メッセージなどをご記入いただき、いのち新聞編集部宛に郵送ください。